

いずも I Z U M O

市議会だより

2014.05.20

No.36

編集／広報委員会
発行／出雲市議会

桜満開の中、 それぞれの入学式



4月9日(水)出雲市内の小中学校の入学式が挙行されました

校長先生よりお祝いの言葉を受ける斐川東中学校の新入生



10名の一年生が入学した須佐小学校

○議会の動き	2
○委員会報告	3
○施政方針質問	6
○一般質問	10
○請願・陳情	20
○市議会の取り組み	21
○採決の結果	22
○行政視察報告	26
○議会活動	27
○議会日程・編集後記	28

平成25年度

第5回出雲市議会（定例会）報告

平成26年2月20日から3月定例市議会が開催されました。市長の施政方針に対しての会派代表質問や、26年度予算の審議に熱い論戦が行われました。

議会の動き

3月定例市議会では、市長から施政方針表明がされるとともに、「平成26年度（2014）出雲市一般会計予算」など予算案件29件、「出雲市行政組織条例の一部を改正する条例」など条例案件25件、「新市建設計画の変更について」など一般案件6件、「出雲市固定資産評価審査委員会委員の選任」など人事案件4件が執行部から提案され、すべての議案について、原案のとおり可決または同意しました。

議員提出議案としては、行政改革部の設置および反問権の導入に伴い、「出雲市議会委員会条例の一部を改正する条例」および「出雲市議会会議規則の一部を改正する規則」の2件を提出し、いずれも原案のとおり可決すべきものと決定しました。

会期日程

開会 平成26年(2014)2月20日(木) **閉会** 平成26年(2014)3月20日(木) 会期29日間

2月20日(木) 本会議（開会、施政方針表明、議案上程・説明、採決）
 2月24日(月) 本会議（施政方針質問）
 3月3日(月) 本会議（一般質問・1日目）
 3月4日(火) 本会議（一般質問・2日目）
 3月5日(水) 本会議（一般質問・3日目、議案質疑、委員会付託）
 3月7日(金) 総務委員会

3月10日(月) 文教厚生委員会
 3月11日(火) 環境経済委員会
 3月12日(水) 建設水道委員会
 3月13日(木) 予算特別委員会（1日目）
 3月14日(金) 予算特別委員会（2日目）
 3月17日(月) 予算特別委員会（3日目）
 3月18日(火) 予算特別委員会（4日目）
 3月20日(木) 本会議（委員長報告、討論、採決、閉会）

常任委員会・特別委員会報告



総務委員会

行財政改革、3カ年の集中改革期間がスタート

「議第1331号 出雲市長等の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例」は、平成25年4月から3年間減額されている市長、副市長、教育長、病院事業管理者の給料月額などをさらに1年間減額期間を延長するものです。審査の結果、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

「議第148号 出雲市一般職の職員の給与の特例に関する条例」は、平成26年4月から全職員の給料月額などを3年間減額するものです。審査の結果、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

審査では、一部の委員から、

一般職員の給料は生活給であることや、これに伴う市内経済への影響が懸念されることから否決すべきとの意見がありました。

いずれの議案も、本市の危機的な財政状況を早期に改善させるための取り組みです。今議会では行財政改革大綱、行財政改革実施計画も策定され、行財政改革・3カ年の集中改革期間のスタートが切られました。



文教厚生委員会

乳幼児の医療費負担無料化を小学校就学前までに拡大

当委員会に審査の付託を受けました案件は、条例6件、請願1件でした。

その中の「議第137号 出雲市乳幼児等医療費助成条例の一部を改正する条例」は、乳幼児などの健全な育成および安心して子どもを生み育てることができる環境づくりを推進するため、医療費の本人負担額の無料化を、小学校就学前までに拡大することについて、所要の条例改正を行うのであります。審査の結果、原案のとおり可決すべきものと決定しました。実施期日は、関係者への周知や諸準備のため平成26年7月1日とするものです。

題に関し、効果的な対策の検討や調査などを行うため設置する「出雲市いじめ問題対策委員会」について、組織および運営に關し必要な事項を定めるため、新たに条例を制定するものです。審査の結果原案のとおり可決すべきものと決定しました。

「議第150号 出雲市いじめ問題対策委員会設置条例」は、国において「いじめ防止対策推進法」が施行されたことに伴い、小中学校におけるいじめ問



環境経済委員会

「旧穴道邸を早急に施設整備し活用する事業の採択を求める陳情」を継続審査と決定

執行部は、平成24年12月、旧穴道邸の南側の離れを改修し、和文化交流センターに、北側の

母屋部分は解体し放課後児童クラブを、また、民有地を購入し、進入路と駐車場を整備する方針を示しました。そして平成

25年6月議会では、施設整備は全体事業費を明確にし、慎重に検討すべきとの意見を付して、実施設計予算を可決しました。

今回、執行部からは、実施設計の結果、埋蔵文化財本調査が必要になった場合の経費を含め、児童クラブを除く事業費が1億6千万円程度、さらに、古民家改修のための工事費増額も懸念され、また、貸館利用料などの収入を考慮しても、運営費に年間500万円程度の持ち出しが発生することにより、これまでの方針を中止し、和文化的

学習・継承は既存施設の活用、既存事業の充実により図っていく方針を示しました。

当委員会では、地元説明がこれからであるという状況も踏まえ、継続審査とすることに決定しました。



旧穴道邸離れの玄関

建設水道委員会

出雲市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例案を可決

当委員会に審査の付託を受けました主な案件は、次のとおりです。

「出雲市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例」は、出雲市営住宅の入居手続における連帯保証人の条件を緩和するなどの改正をする条例です。審査の結果、可決すべきものと決定しました。

次に、「上成大津小学校前線の拡幅に関する請願」についてです。

これは、大津町地内の上成大津小学校前線のうち旧国道から現在の国道9号までの区間について、児童生徒などが安全に通行できるように歩道をフラット式にし、道路の幅を接続する市道中央一の谷線と同じ14mに拡幅して整備するよう求めるものです。

現地視察を行い、請願者から説明を受け慎重に審査した結果、児童生徒の安全確保のために歩道の改良の必要性は認められるものの、道路の拡幅にあたっては家屋移転が必要であり、早期の実施が難しいことから、本請願は趣旨採択すべきものと決定しました。



上成大津小学校前線の現地視察状況

予算特別委員会

行財政改革集中改革期に向けての新年度予算を審査

予算特別委員会に付託を受けました案件は、一般会計、特別会計および企業会計の、それぞれ平成25年度補正予算、平成26年度当初予算あわせて29件です。3月13日から18日の4日間、長岡市長をはじめ執行部関係職員の出席を得て、委員会を開催しました。

委員会では、予算の編成方針や市の財政状況など総括的な視点や、各予算の詳細にいたるまで、多岐にわたって質疑・審査を行いました。

まず、平成25年度一般会計第6回補正予算は、歳入歳出予算をそれぞれ15億8700万円追加し、予算総額を771億6200万円とするものです。将来の公債費負担を軽減するための市債の繰上償還5億円など、所要の予算が計上されています。

次に、平成26年度一般会計予算は、歳入歳出予算の総額を730億円と定めるものです。

主な歳出では、出雲の魅力を総合的に発信する出雲シティセールス事業5千万円、医療・介護分野と市内ものづくり企業との連携を促進する医工連携支援事業100万円、消費税増税による子育て世代・低所得者への影響を緩和するため臨時福祉給付金支給事業4億1900万円、子育て世帯臨時特例給付金支給事業2億4千万円、新規施策として、無料化の対象を就学前児童までに拡大した乳幼児等医療費助成事業4億1千万円、拠点小学校への学校司書配置を行う読書ヘルパー事業3593万円、また、有害鳥獣被害対策事業8190万円などが計上されています。審査の結果、いずれも原案のとおり可決すべきものと決定しました。

の決定しました。

委員会では、各委員から、行財政改革を進めている中での適切な予算執行の在り方などの指摘がありました。また、先の決算委員会での指摘が新年度予算に反映されていないとの意見もありました。

執行部に対し、委員会での指摘や意見を踏まえ、適切な予算執行にあたられるよう要望しました。

予算特別委員会が設置されました

2月20日の本会議において、各予算案件を審査するために15名の委員で構成する予算特別委員会が設置され、審査をしました。予算特別委員会の委員は下記のとおりです。

予算特別委員会委員名簿

【委員】

委員長	松村 豪人
副委員長	渡部 勝
委員	長廻 利行
委員	宮本 享
委員	山代 裕始
委員	米山 広志
委員	川上 幸博
委員	萬代 輝正
委員	遠藤 カ一
委員	小村 吉一
委員	伊藤 繁満
委員	井原 優
委員	福島 孝雄
委員	神門 至
委員	大谷 良治



平成26年度予算の審査状況

施政方針について 各会派代表が問う



3月定例会では、会派に所属する議員が市長の施政方針について代表質問を行いました。会派が選んだ項目（◎印のもの）について掲載しています。なお、原稿は質問をした議員が要旨をまとめたものです。

施政方針に対する会派代表質問 一覧

真誠クラブ 板垣成二 議員

- ・所信について
- ・市政運営のポイントについて
- ・雇用創出2,000人プロジェクト
- ◎農林水産業について
- ・定住人口キープ17万人プロジェクトについて
- ・交流人口1,000万人プロジェクトについて
- ・住みやすさ No.1 プロジェクトについて
- ・人材育成について
- ・組織・機構改革について

政雲クラブ 大場利信 議員

- ・所信について
- ◎市財政の将来見通しについて
- ・行政改革部に対する強いリーダーシップの発揮について
- ・出雲シティセールス事業について
- ・雇用創出2,000人プロジェクト
- ・定住人口キープ17万人プロジェクトについて
- ・住みやすさ No.1 プロジェクトについて
- ・結びにかえて

平成・大社クラブ 長廻利行 議員

- ◎行財政改革の推進について
- ・定住促進と交流人口増加について

市民の会 米山広志 議員

- ◎定住人口キープ17万人プロジェクト
- ・交流人口1,000万人プロジェクト
- ・住みやすさ No.1 プロジェクト

日本共産党 井原 優 議員

- ・施政方針策定にあたっての市長の政治姿勢について
- ・「開かれた市政のさらなる推進」について
- ・「行財政改革の推進」について
- ・「原子力発電所」について
- ・「子育て支援」について
- ◎「雇用対策」について
- ・「企業誘致」と産業振興について
- ・「国の農業政策」について

公明党 勝部順子 議員

- ・市政運営のポイントから
- ・定住人口キープ17万人プロジェクト
- ・交流人口1,000万人プロジェクトから
- ・住みやすさ No.1 プロジェクトから安全・安心
- ◎人材育成から
- ・組織・機構改革

国の農政転換に対し 市長の対処方針は

真誠クラブ

板垣 成一



問

国は、平成26年度から農業農村政策を大きく転換する方針を打ち出しました。産業政策としての農業、地域政策としての農業を推進するため、農地中間管理機構を創設し、経営所得安定対策や米政策を見直し、日本型直接支払制度を創設するとしています。市としてどのように対処されるのか伺います。

市長

①担い手への農地利用の集積・集約化を目的とした「農地中間管理機構」については、規模拡大によるコスト削減が期待できる地域では、公社やJAと連携しながら一層の農地集積や経営体の法人化に取り組めます。②経営所得安定対策については、国の制度である産地交付金や、本市独自のとも補償を引き続き活用し、各地域特性に応じた作物の拡大により、米に偏らない

経営の安定化を推進します。③地域政策として「多面的機能支払交付金」が創設されますが、これは現行の「農地・水保全管理支払交付金」の組替新規事業です。中山間地域等直接支払交付金は現行制度が継続される見通しです。④規模拡大によるコスト削減が困難な中山間地域や、条件不利地においては、「多面的機能支払交付金」や「中山間地域等直接支払交付金」、「環境保全型農業直接支払交付金」を活用し、農業・農村が持つ多面的機能の維持・発揮に努めます。



平成26年度予算の編成に 当たって留意された点 および中期財政計画との 整合性について伺う

政雲クラブ

大場 利信



問

市財政が厳しい中、次の3点について伺います。
①平成26年度予算の編成に当たって特に留意された点。
②基金現在高、地方債残高、実質公債費比率のそれぞれが中期財政計画に沿ったものかどうか。
③市税の平成21年度から24年度までの現年課税分の徴収率は98%台後半に達しており、27年度には99%にする目標を掲げておられるが、市税確保策についての市長の意気込み。

市長

①「出雲未来図」の推進と財政の健全化という相反する双方の実現を目指すため、限られた財源の中で、選択と集中、優先順位の明確化により、メリハリのあふ予算編成を行いました。
②中期財政計画と比較し、基金現在高（貯金）が約9億4千万円の増、地方債残高（借金）が

約22億円の減、実質公債費比率が1.2%減の19.6%となり、中期財政計画より改善すると見込んでいます。
③具体的な取り組みとして、コンビニ収納や口座振替の推進、きめ細かな納税相談や納税折衝、滞納処分への厳正な執行などにより、目標値に近づいています。今後とも滞納額の縮減に全力を挙げて取り組む所存です。

中期財政計画（H24.12）との対比

（市の財政見込資料から）

1 財政調整基金・減債基金（貯金）の現在高	
中期財政計画	30億2,300万円
H26年度末見込額	39億6,200万円
差引	9億3,900万円の増
2 地方債（借金）の現在高	
中期財政計画	1,235億8,700万円
H26年度末見込額	1,213億7,800万円
差引	22億900万円の減
3 実質公債費比率（3カ年平均）	
中期財政計画	20.8%
H26年度末見込額	19.6%
差引	1.2%の減

行財政改革の 取り組みについて伺う

平成・大社クラブ

長廻 利行



問

現在、市では行革大綱、実施計画の策定を進めておられますが、市長は来年度から3年間を集中改革期間と位置付けて、スピード感を持って集中的に実施されると述べられました。また、先日は全職員に対しその決意のほどを述べられたとも伺っております。

ここで改めて市長の行財政改革の取り組みについて、またその決意のほどをお聞きしたいと思います。

市長

起債残高は依然として高額で、元利償還金が財政を圧迫する要因となっております。また、今後も少子高齢化の進行などによる社会保障費の増加が予測されています。一方、歳入においては、平成27年度から合併算定替への終了に伴う地方交付税の減額が始まるなど、財政健全化は待ったなしの状況です。



こうした状況を乗り切るために、平成26年度から概ね10年間の指針となる新たな行財政改革大綱とその実施計画を着実に実施することが必要であると考えています。特に、これからの3年間を集中改革期間と位置付け、自ら先頭に立って行財政改革を推進していく覚悟です。

議員の皆さま、市民の皆さまの理解と協力をお願いするとともに、全職員が一丸となって全力を尽くすことをかたく決意し、行財政改革に向けた私の決意表明とさせていただきます。

自治会の加入促進事業 具体的な支援策は

市民の会

米山 広志



問

自治会の加入促進について、①加入率の低い地域②具体的な支援策③昨年度の加入促進事業の成果について伺います。

市長

①地域別の自治会加入率は、佐田・多伎は90%以上、平田・湖陵・大社が80%以上と高く、出雲が61.4%、斐川が73.4%の状況です。出雲地域のうち今市、大津、塩冶、高松、四

絡、川跡、神門、斐川地域の直江、伊波野の各地区は、市の平均値を下回る数値です。四絡、塩冶では、既に過半数が未加入です。②自治会未加入、高齢化などの問題は、今後の行政運営に大きな影響を与えることを認識し、地域コミュニティづくり支援補助金などによる支援、説明会や相談会に市職員が出かけるなど、ともに汗を流す取り組みを継続します。平成24年か

ら、他地域の先導役となるような取り組みを実施されている高松、四絡、川跡の3地区をモデル地域に選定し、その取り組みを支援しています。③平成24年度は四絡地区では2自治会、川跡地区では3自治会が新たに結成されるなど、成果が上がっています。



自治会加入促進の横断幕（高松地区）

雇用問題を問う 若者の雇用実態は

日本共産党

井原 優



問

若者の中には、低賃金で長時間労働、サービス残業で過酷な労働条件のもとで健康を害し、将来への不安を抱え苦しんでいる実態があります。若者を使い捨て、使いつぶす働かせ方を放置することは出来ません。

市は、県の関係機関と協力して企業の違法・脱法的な働かせ方をなくすための調査や規制を行うべきと考えますが所見を伺います。

高校を卒業し、県内の企業へ就職した950人のうち、3年以内に仕事をやめた人が398人(41.9%)であったと報じられています。多くの若者が労働基準法の知識や違法性が分からないまま、泣き寝入りしている場合もあります。労働相談窓口などの充実を求めます。

市長

若者などが長時間労働やサービス残業、違法な雇用管理のもとで働かされている実態があることは認識しています。ハローワーク出雲へ来所する高卒者の離職理由としては、当初考えた条件と合わないなどが主なもので、労働基準法違反の疑いがある場合は、労働基準監督署に相談するよう案内しています。また県が実施する「労働相談」、労働委員会が実施する「斡旋」などがあります。市では、「個別労働紛争処理制度」などをホームページ、チラシで周知しています。



ハローワーク出雲

学校図書館に 司書の配置が決定

公明党

勝部 順子



問

新年度から、読書ヘルパーの配置に加えて、拠点校10校に司書の配置が表明されました。合併前の斐川町で実施されていて、「学校図書館を考える会いずも」の皆さんから、議会に請願も提出されてきました。大変に期待をしております。

市長

① 学校図書館を活用した学習において、適切な資料の選書やより専門的な指導が行えるようになるなど「調べ学習」に対する支援が充実していくと考えています。具体的には、情報についての理解を深め、必要な情報を収集する能力や自分なりの考えを持ち、目的に応じて情報を選択してまとめ、発信する能力あるいは新たな知識の習得や学習意欲の向上などの効果を期待しています。

② 司書を配置する拠点校の決定については、学校司書の配置効果を配置校のみにとどまらせることなく、周囲の学校にも波及させることができるよう、学校司書一人あたりの学校数および学級数を考慮し、決定したいと考えています。今後のスケジュールは、司書資格を有する方々を公募により採用する予定です。また、読書ヘルパーと同様、一学期の開始に間に合うよう、配置したいと考えています。



「学校図書館を考える会いずも」のみなさんとの意見交換の様子

市政のここが聞きたい 一般質問

3月定例会市議会では18人の議員がそれぞれ以下の項目について質問を行いました。1人1問ずつ選んで(◎印のもの)掲載しています。なお、原稿は質問した議員自身が要旨をまとめたものです。

山代裕始 議員 (11ページ)

- ◎就学前児童の子育て支援について
- ・市民の歌・町民の歌の取り扱いについて
- ・幹線道路の愛称を今後どのように取り組み、考えるのか

岸道三 議員 (11ページ)

- ・臨時・非常勤職員の処遇改善について
- ◎行財政改革について

福島孝雄 議員 (12ページ)

- ・地域営農ビジョンの取り組みについて
- ◎斐川町の「荒神谷青銅器出土30周年記念事業」について

遠藤力一 議員 (12ページ)

- ・入居債務保証支援事業への取り組みについて
- ◎24時間・年中無休電話健康医療相談について

保科孝充 議員 (13ページ)

- ◎県道斐川上島線整備計画の進捗状況等を聞く
- ・各コミュニティセンターの防災行政無線放送の有効活用と市民一体感の醸成について
- ・小中学生のネットトラブル被害について
- ・斐伊川の利水対策について

大谷良治 議員 (13ページ)

- ◎地域交通対策・活性化を目指した施策について
- ・改正道路交通法に伴う自転車交通安全対策について
- ・青少年とインターネットの関係について

飯塚俊之 議員 (14ページ)

- ・平田小学校体育館の火災後の対応について
- ・開校1年を迎える出雲市立向陽中学校について
- ◎河下港の利活用策について

小村吉一 議員 (14ページ)

- ◎地域の小売商の存続と振興を求めて
- ・教育委員会制度と本市の教育の現状について

板倉明弘 議員 (15ページ)

- ◎検討中の教育委員会制度改革に対する市長の所感
- ・指定管理者制度に対する包括外部監査指摘事項及び監査意見

原正雄 議員 (15ページ)

- ◎神戸川再生について

大国陽介 議員 (16ページ)

- ・原発の再稼働など論外。「即時ゼロ」こそ責任ある対応
- ◎負担増とサービス縮減の介護保険「見直し」に反対を

神門至 議員 (16ページ)

- ◎合併10周年を迎えての検証課題について
- ・旧穴道邸の活用および整備の考え方について
- ・みせん広場におけるホテル事業の考え方について

松村豪人 議員 (17ページ)

- ◎人口減、厳しい財政状況下の地域課題の解決に、大学の協力を得て進めてほしい
- ・漁港施設の老朽化対策の見直しは

萬代輝正 議員 (17ページ)

- ・学校施設の開放状況と経費負担のあり方について
- ◎市内民間企業への活力が生まれる指定管理者制度の移行へ

寺本淳一 議員 (18ページ)

- ◎安全・安心のまちづくりについて
- ・学校教育の充実について

珍部全吾 議員

- ・斐伊川神戸川治水事業の今後
- ・青少年の育成について

伊藤繁満 議員 (18ページ)

- ◎次世代へ持続可能な活性化対策について
- ・新農業政策への取り組みについて

板倉一郎 議員 (19ページ)

- ◎観光振興について
- ・次期可燃ごみ処理施設について

保育所入所が決まらないとの声に 対する現状と対策を伺う

問 保育所入所が決まらないとの声を聞きますが、保育所定員と待機児童の動向はどういう状況ですか。また、市の入所審査における優先順位と入所児童の入所要件が満たさなくなった場合の対応、待機児童解消の対策について伺います。

市長 平成25年度の10月1日現在の待機児童は28人で、毎年定員増をしても解消に至っていません。保育所定員は過去5年で480人増え、26年度は4965人となる予定です。保育所入所は保護者の就労状況など保育の必要度を指数化し高い順に決定します。就労時間などが長い場合やひとり親、きょうだい入所の場合など指数が高くなります。保育できない理由がなくなれば入所継続できませんが、状況に応じ配慮しています。待機児童対策は、現在子ども子育て新制度に向け議論を進



山代 裕 始

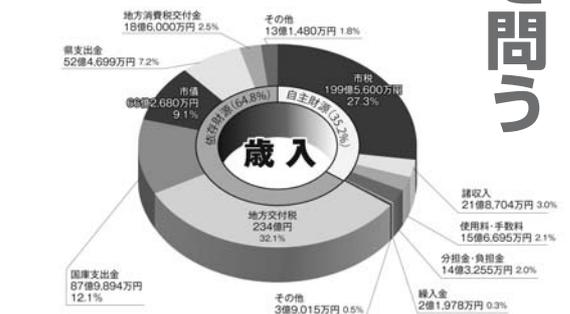
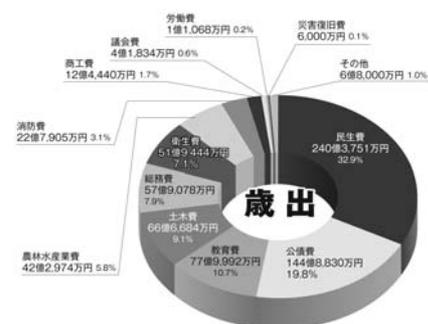
めている「市子ども子育て会議」で検討する考えです。



行財政改革の認識を問う

問 行財政改革審議会が設置され、成果の検証と新たな大綱の策定について諮問、答申されました。策定される大綱が

着実に実行されるためには、その実施計画と財政計画の速やかなローリング（見直し）が欠かせません。そこで、次の点について伺います。
① 事務事業の見直しにおけるこれまでの成果を踏まえた今後の対応
② 財政計画のローリングの視点と時期



平成26年度一般会計予算



岸 道 三

よる事業の削減に努めます。
② 今後、年末に示される予定の交付税見直しの制度設計や消費税率引き上げ判断などの状況を見据えつつ、国の政策動向や社会情勢の変化、新たな財政需要などを適切に反映させるため、適時ローリングをはかっています。

斐川町「荒神谷青銅器出土 30周年記念事業」で 新たな出雲の 魅力アップを



福島 孝雄

問 ①30年前に発掘された青銅器（重要文化財指定）は、市

として大いにアピールできると
思いますが見解を伺います。

②記念事業中に様々なイベント
が計画されていますが、市とし
ての支援策を伺います。

③当館での「実物青銅器」展示
が求められていますが、予定を
伺います。

④新規の「出雲シテイセールス
事業」に史跡・道路遺構も対象
になるか伺います。

文化環境部長 ①出雲神話が現

実味を帯び、出雲の魅力として
大いにアピールできます。

②市としてホームページ・ユー
チューブ・ガイドマップで積極
的に情報発信します。

③発掘された7月12日を中心に

毎年1カ月程度展示します。

④遺跡・道路遺構とも出雲の魅
力であるため、周辺都市・観光
協会と連携し情報発信に努めま
す。

市長 歴史的な発掘からの節目
であり、この際しっかりと発信
する必要があります。4月上旬
の来館者15万人達成式典には出
席したいと考えます。



国宝荒神谷青銅器出土30周年

24時間・年中無休 電話健康医療相談の実施を

問 このシステムは、市民の
健康不安や医療、介護、育児な
どの相談にフリーダイヤルで24
時間対応する民間事業者による
サービスです。

医者、看護師、保健師が常駐
し、初期の応急処置や治療、検
査方法などアドバイスをしてい
ます。

最近、軽症者による時間外の
救急受診などが増加し、医療ス
タッフの負担が増えています。
核家族化、高齢化、少子化によ
り頼りになる人が身近にいない
人が増えています。市民の不安

をカバーし、医療や救急の負担
を減らすシステム導入について
見解を伺います。

健康福祉部長 電話による健康
医療相談は「#8000番」が
600件、出雲休日・夜間診療
所での相談が年間約千件ありま
す。

健康相談全般に関しては、保
健師が電話相談を受けており、
育児であれば子育て支援セン
ター、介護であれば高齢者あん
しん支援センターで相談を受け
ています。まずは利用促進につ
いて、さらに周知を図っていき
ます。



カウンセラー電話相談



遠藤 力一

県道斐川上島線の整備計画を聞く

問 ①県道斐川上島線の整備

について、25年度予備調査・26

年度詳細設計調査の計画が進

められています。今後の工事

見通しについて伺います。②

森坂大橋の街灯は延長約300

mの区間に一灯もなく、他の県

道・国道の橋梁街灯に比較する

と安心安全上不安です。早期整

備をお願いします。③上津側で

坂を登る途端に交差点があるな

ど交通事故も多いのですが、出

雲市として移設の必要性はどう

考えていますか。

都市建設部長 ①島根県では現

在道路の線形、法線を検討する

ための予備調査をしています。

②国

計を行うと聞いています。③国

の指針「道路照明施設設置基

準」が制定される前に完成して

いた橋梁であり、適合していま

せん。今後島根県に要望してい

きます。③インターから阿宮に

向けての開通を

優先的にやって

もらうよう要望

しています。森



整備されつつある斐川上島線上阿宮付近



保科孝充

地域交通対策・活性化を 目指した施策について伺う

問 公共交通対策の現状と対

策・課題について伺います。

総合政策部長 少子高齢化が進

展していく中で、生活に欠かせ

ない通院、買い物などのための

交通手段の確保は重要な課題で

す。高齢者や児童生徒などの交

通手段を確保するため、地域実

態に応じた最も適切な交通政策

の構築を検討していきます。

問 交通政策基本法の制定に

伴う地方公共団体の役割（責

務）について伺います。

総合政策部長 「政府は交通に関

する施策を実施するため必要な

法制上または財政上の措置その

他の措置を講じなければなら

ない」と規定されていること

から、地域交通が抱える課題

の解決に資する措置が講じられ

るものと本市も期待していま

す。今後は、街づくりや観光施



市が支援する生活バス路線



大谷良治

出雲河下港の利活用に 海上自衛隊の誘致を

問 出雲河下港は、平成19年に5千トンバースが完成する

など港湾整備が行われ、物流や防災の拠点として利活用が期待されています。また近年は海上自衛隊の艦艇広報が実施されています。そこで次の点を伺います。

- ① 出雲河下港の利活用状況
- ② 海上自衛隊の艦艇広報の評価
- ③ 海上自衛隊の基地誘致

市長 ① 近年、取扱貨物量は15万トン前後で推移しています。今後も積極的なポートセールスや情報収集に努めていきます。

② 毎年多くの見学者が訪れ、港湾施設を見てもらう良い機会になっています。また、生活物資の購入など地域経済の発展に寄与するものと考えています。

③ 出雲河下港振興会では、以前から海上自衛隊の物資補給や訓練寄港などによる利活用策を検討してきました。さらに今後



飯塚 俊之

は、関係機関と情報を共有しながら、海上自衛隊の物資施設設置の可能性についても調査していきたいと考えています。



出雲河下港での海上自衛隊の艦艇広報

「商店リニューアル助成制度」の 全市実施を求める

問 現在、本市で実施されている、中山間地域の小売店の

舗改装や備品の取得に対する補助事業を、全市に拡大する「商店リニューアル助成制度」を実施すべきと考えますが考えを伺います。

産業観光部長 中山間地域において、食料品や日用品などの店舗は、住民の生活を支える上で

重要ですので支援が必要だと考えています。

しかし、他の地域にはこのような店舗が中山間地と比べ多くあることから、店舗改装などへの支援は考えていません。

問 中山間地域では、今や小

売店はほとんど姿を消しています。全市の小売店の存続と振興こそ大変重要かつ喫緊の課題となっているのではないのでしょうか。施策は後追いでは駄目です。今までに中山間地域支援事



手作りの商品が並ぶ小売店舗

業への申し出があっているか伺います。

産業観光部長 相談はありましたが、申請はありませんでした。



小村 吉一

どうなる 新たな教育委員会制度

問 戦後の教育行政を転換する大きな制度変更といわれる教育委員会制度改革が活発に議論されています。本市の教育委員会は、学校教育に特化され、社会教育は市長部局で補助執行する独自の教育政策を実施してきました。そこで、この制度に対する評価と教育の政治的中立性についての見解を伺います。

市長 本市の教育委員会は、小中学校における地域学校運営理事会の設置、科学館での理科学習、小中連携教育や保幼小連携教育の推進など、各種施策を全国に先駆けて幅広く展開し、教育委員による定期的な学校訪問や各種団体との意見交換などを実施し、また、文化、スポーツ、生涯学習などは、総合的な市行政の中でさまざまな事業を実施し、それぞれに効果があったと評価しています。また、教育行政は、学校の基本的な運営



板倉 明弘

方針の決定や教職員人事について、強く中立性が求められていると考えます。



教育委員会事務所

神戸川を発電と良好な河川環境 づくりのため、国で管理を

問 神戸川は来島ダムで江川に分水し、発電に供され60年になります。水使用の再申請が昨年2月に出されています。

放水路が完成し9月、10月の2度の放水がされています。昔の神戸川に戻すには水が必要です。国が全ての区間を管理し、発電を含め指導すべきだと思いますが市長の見解を伺います。

市長 神戸川流域の皆さんの分は、十分承知しています。通年可能な最大流量を戻すための諸施策で河川環境の保全、改善がなされる提案内容を踏まえた上で判断します。河川は治水、利水、環境面からも水系一貫により総合的に管理することからして、国の一元管理が基本であ



斐伊川放水路拡幅工事の完成後(現況)



斐伊川放水路拡幅工事の着工前の神戸川

国で一元化が求められる神戸川

り、機会ある毎に強く要望してまいります。



原 正雄

負担増とサービス縮減の介護保険「見直し」に反対を

問 国の介護保険の見直し

案には、重大な問題があります。要支援者の「訪問介護」と「通所介護」を介護保険から外して市町村事業に移すことや特養ホームの入所対象を要介護3以上に制限することなど、大幅な制度変更が狙われています。「高齢者の尊厳の保持」「国民の保健医療の向上および福祉の増進」を目的とした介護保険の理念にも反する今回の見直しは、まさに「制度改悪」と言えるものです。国に対し、中止を求めるときと考えますが、いかがですか。

健康福祉部長 介護保険は開始

後13年が経過し、高齢者世帯が増加する中で、老老介護の問題など新たな課題も顕在化してきている中で、介護保険が目指す「高齢者の尊厳の保持」や「自立支援」をいかに実現していくかが問われているところです。



大 国 陽 介

団塊の世代が、75歳以上になる2025年に向けて、高齢者が増加する見直しの中で制度維持のために、今回の改正は必要なことと考えています。

○要支援者の内、実際にサービスを利用している方 (1月時点)	要支援1の方	607人	要支援2の方	938人	合計	1,545人
○特別養護老人ホームの入所者の状況 (1月時点)	要介護1の方	7人	要介護2の方	43人	合計	50人
○特別養護老人ホームの入所申込者数 (調査基準日：1月1日)	全体	1,174人 (内要介護1・2の方		385人)		

合併10周年を迎えての検証課題

問 平成17年3月、2市4町の合併時に策定された「新市建設計画」の変更理由(5年間延長)と検証、総合振興計画の検証と周知方法、旧2市5町での積み残された課題と合併効果についてお伺いします。

平成17年3月、2市4町の合併時に策定された「新市建設計画」の変更理由(5年間延長)と検証、総合振興計画の検証と周知方法、旧2市5町での積み残された課題と合併効果についてお伺いします。

能になったことと考えています。

市長 今議会に提案している変更は、合併特例債の発行期間が5年間延長されたことから、合併特例債を発行するための根拠となる新市建設計画の期間を延長するものです。また、計画の検証は、総合振興計画を実現していくための具体的な施策、事業を示した基本計画において、進捗状況の確認・検証を行っています。合併効果は、行財政の効率化と高度化・多様化に対応した行政サービスの提供です。一番の効果は、それぞれの地域のすぐれた特性、資源を結集し、総合力を十分に発揮することとで、全国に出雲というブランドを生かした情報発信、魅力的なまちづくりを進めることが可

今回の「新市建設計画」の変更について

「新市建設計画」は、旧合併特例法に基づき、2市4町の合併協議会において策定された計画であり、「出雲市・斐川町合併基本計画」は、合併特例法に基づき、出雲市と斐川町の合併協議会において策定された計画です。

いずれも、それぞれ合併後の新市の一体性の確保及び住民の福祉の向上を図るために策定された計画ではありますが、根拠となる法律が異なります。そのため、有利な起債である合併特例債を活用できるのは、旧合併特例法に基づき策定された2市4町での「新市建設計画」だけです。

今回の「新市建設計画」の変更については、「東日本大震災による被害を受けた合併市町村に係る地方債の特例に関する法律の一部を改正する法律」が施行されたことに伴い、合併特例債の発行期間が5年間延長されたことから、本市においても合併特例債を発行するための根拠となる新市建設計画の期間を延長するものです。



神 門 至

人口減、厳しい財政状況下の地域課題の 解決に、大学の協力を 得て進めてほしい



松村 豪人

問 人口減、超高齢社会での課題解決や6次産業化、医療・介護の体制整備などに地域の研究機関である大学と連携すべきです。出雲市としてどう取り組んでいくか伺います。

総務部長 出雲市は平成21年に県立大学と、翌年に島根大学と包括的連携協定を締結し、地域研究、共同事業を行っています。

今年度、国の「地（知）の拠点整備事業」に採択され、県立大出雲キャンパスには「しまね看護交流センター」が設立され、専門知識や技術、研究成果を広く地域に還元する拠点ができました。島根大においては、地域課題解決型の研究を行うプロジェクトセンターが設置され、「農林水産業の6次産業化」、「水産資源管理」、「疾病予

知予防」などのテーマが掲げられました。

今後、研究の形態に応じて地域や関係諸団体と協力し効果的な事業展開が図られるよう、受入体制を整えていきます。



しまね看護交流センター（県立大学 HP より）

民間の活力生まれる指定管理者制度へ

問 平成28年4月からの指定管理者の更新に向け、市内の民間企業の活力となるように早急にスケジュールの組立をすべきではないか。

ております。

指定管理者制度
（じついかんりしやせうど）

地方公共団体やその外郭団体に限定していた公の施設の管理・運営を、株式会社をはじめとした営利企業・財団法人・NPO法人・市民グループなど法人その他の団体に包括的に代行させることができる（行政処分であり委託ではない）制度で、出雲市も地方自治法の一部改正で2003年9月2日の施行後に、複数施設への制度の導入をしている。

総合政策部長 平成28年度に指定管理者期間の更新を迎える施設は86施設です。現在在り方の見直し、施設の統廃合や譲渡などを含めて多方面で検討しており、並行して施設の使用料の見直しを行います。また、包括外部監査での指摘などを踏まえ、平成26年度中には指定管理者制度の運用方針を策定し、適切な積算方法や公募・非公募などの募集方法の在り方を明確化し、指定管理を行う事業者にとって、職員雇用や施設運営準備のため、早期の段階で指定を受けられるのが望ましいと考えます。

よって、平成27年度の出来るだけ早い時期に募集をし、平成27年9月定例市議会に指定管理者の決定についてお諮りできるよう努めていきたいと考え



萬代 輝正

「安心・安全のまちづくり」 について伺う

問 施政方針で防災・減災への取組を積極的に進めるとありますが、住宅の耐震化促進について伺います。

- ①住宅の耐震化の現状と課題。
- ②政府が定めた平成32年までに



阪神淡路大震災で倒壊した住宅



寺本 淳一

耐震化率95%の目標に対し、市としての考え。

消防長

①出雲市の耐震化率は、平成20年が68%、平成23年には72%と推移しています。改修が進まない理由として、費用が高額であり、所有者の高齢化により、計画的な改修が進まないこと、出雲地方では近年大きな地震がないことが考えられます。②95%という目標達成は困難と感じています。しかし、住生活の安全確保のために耐震対策は重要です。建築技術者で組織される各種団体の皆さまと連携し、耐震対策の必要性や補助制度、税制優遇制度など市民意識の向上となる普及啓発に積極的に取組んでまいります。

次世代へつながる活性化対策を

問 遅きに失した財政再建策が今後3カ年をかけて集中的に取り組まれます。選択と集中の名の下で経済活動の足腰が大きく損なわれることが無いようにすべきです。次世代にかけて人口減少傾向が続くときに、産業、観光、文化などにおいて絶え間なく活力を注入することが限られた財源の中で有効なまちづくりであり、活性化対策です。その大きな柱の一つに大企業を一刻も早く誘致すべきです。取組み状況を伺います。

問い合わせを受けています。早期に企業立地を実現したいと考えています。

市長 本市の経済が着実に発展することが重要で人口減少対策、所得の向上、都市基盤の整備、企業誘致、産業、観光振興など、総合的にまちづくりを進めています。市外からの誘致企業44社の新規採用予定人数は161人であり雇用状況の改善に取り組んでいます。企業誘致の取組みとして東京、大阪、京都などでトップセールスを重ね現在4社が現地視察、8社から



伊藤 繁 満



観光客でにぎわう神門通り

魅力ある出雲・観光振興を

問 ①出雲市をイメージできるお土産（お菓子）を企画開発する考えはないか伺う。②冬の閑散期対策について伺う。

産業観光部長 ①全国的に認知されるお土産の開発は、本市のピーアールにつながることも、販売の拡大にもなり地域経



板倉 一郎

済への効果は大きいと考えています。現在、お土産になるお菓子については、市内それぞれのお店で特徴ある商品を開発・販売されていますが、「出雲市」と聞いてイメージできるお菓子の開発についても、地元菓子協会や商工団体など、関係機関と検討していきます。

②温泉や食といった冬における当地域の観光素材を中心に情報発信するとともに、冬期限定の宿泊費助成など旅行意欲を喚起させる取り組みを行なっていきます。近隣市町からの入り込みを増加させる地域内観光プランについて中海・宍道湖・大山圏域市長会なども連携し企画していきます。

行政視察受入状況

出雲市議会では、他市議会の行政視察を積極的に受け入れ、本市の独自の取り組みや特色ある施策について、説明・紹介をしています。

主な視察項目は、新エネルギーの推進に向けた取り組みや教育委員会改革、ブランド化の推進、観光行政です。

平成25年度は69件の視察があり、476人の視察を受け入れています。（平成24年度は、62件で385人の行政視察を受け入れました。）

【平成25年度 月別受入状況】

4月	2件	7人	青梅市議会、豊橋市議会
5月	5件	30人	戸田市議会、大田原市議会など
6月	1件	3人	裾野市議会
7月	11件	67人	富谷町議会、本庄市議会など
8月	9件	59人	都留市議会、鎌倉市議会など
9月	0件	（9月定例会会期中のため）	
10月	18件	144人	船橋市議会、青森市議会など
11月	14件	109人	杵築市議会、美弥市議会など
12月	1件	14人	板橋区議会
1月	3件	16人	前橋市議会、石巻市議会など
2月	5件	27人	綾瀬市議会、佐倉市議会など
3月	0件	（3月定例会会期中のため）	

※定例会の会期ではない時期に視察の受け入れを行っています。

請願・陳情の審議結果

【請願】

番号	件名	提出者	審議結果
11	上成大津小学校前線の拡幅に関する請願	出雲市大津町 大津自治協会 会長 切川幸一 他4名	趣旨採択 に 賛成多数
12	「高齢者の負担増と保険給付の削減を押し付け、市町村に責任を転嫁する介護保険の見直しに反対する意見書」の採択を求める請願	松江市大正町 島根県社会保障推進協議会 会長 池淵栄助	不採択 に 賛成多数
	なぜ不採択	将来的に持続可能な介護保険制度の維持のためには必要な改革であるため。	

【陳情】

番号	件名	提出者	審議結果
17	旧宍道邸を早急に施設整備し活用する事業の採択を求める陳情	出雲市塩冶町 塩冶自治協会 会長 板倉重安 他1名	継続審査 に 全員賛成
	なぜ継続審査	市執行部から示された、和文化交流センター（仮称）の整備を中止し、旧宍道邸を解体することについて、地元説明の状況を把握する必要があるため。	

請願・陳情のご案内

請願・陳情は、皆さんの意見・要望を市政に反映させる重要な制度です。この制度によりどなたでも、市議会に直接要望することができます。

請願は出雲市議会議員が1名以上紹介議員となる必要があります。陳情は紹介議員は必要ありません。

請願と陳情の審査は、基本的に同じ取扱いとし、所管の常任委員会で審査した後に、本会議で結論を出します。（ただし、国などへ意見書を提出してほしい場合は、請願のみ受け付けることとしています。）

定例会ごとに提出締切があります。詳細は議会事務局議事係（TEL 21-6579）にお尋ねいただくか、市議会ホームページをご覧ください。

◆提出時に留意していただきたいこと

- 必ず日本語で、次の点を記載してください。（内容を表す件名、要旨、内容、提出年月日、代表の方の住所、氏名、押印、電話番号）
- 請願の場合は、紹介議員の署名または記名押印が必要です。
- 提出部数は、1部です。
- 請願や陳情の審議結果については、提出者にお知らせします。
- 提出された請願書・陳情書の内容、提出者（2人以上の場合は代表者）の氏名（名称）と住所（所在地）は、公表されますので、あらかじめご了承ください。

書 式 例	
請願書（陳情書）	
年 月 日	
出雲市議会議長 様	
請願者（陳情者）	
代表者 住所	
氏名	印
電話	-
紹介議員	
氏名	印
○○○○○○○に関する請願（陳情）	
要旨	_____
内容	_____

タブレット端末の導入に向け実証実験を行いました

出雲市議会では、資料の電子データ化による経費削減や、職員のコピー、製本の負担軽減、議会の情報活用能力の向上などを目的にタブレット端末の導入を検討しています。

3月定例会市議会では、全員協議会と各常任委員会において、使用を希望する議員を対象にタブレット端末を試験的に導入し実証実験を行いました。

実験に参加した議員からはおおむね良好な感想が寄せられました。一方で、操作にまだ不慣れなことや、メモが取りにくい、複数の資料を同時に見る方法の検討が必要などの意見も寄せられました。

議会では、タブレット端末等活用推進委員会を3月に立ち上げ、本格導入に向け今後検討をすすめてまいります。



3月定例会市議会から反問権を導入しました

出雲市議会では、3月定例会市議会から本会議などでの議論のいっそうの活性化を図るため、執行部に反問権を付与することとしました。詳細は下記のとおりです。

反問の対象	本会議の一般質問	委員会の質疑
反問できる者	部長級以上の者	部長級以上の者
反問の内容	制限を設けない (単なる質疑・質問の趣旨確認は、反問として扱わない)	同左
反問の時間	・反問に対する議員の答弁を含め、1議員につき10分以内(議員の質問時間45分には含めない)	制限を設けない ・委員長の議事整理権のもとで運用
反問回数	制限を設けない	制限を設けない

※反問権とは・・・ 論点を明確にし議論を深めるため、議員の質問・質疑の意味や政策の考え方について議員に問いたす権利

議員としての「代表焼香」および「弔電」は辞退します

出雲市議会では申し合わせにより、市議会議員としての「参列者代表焼香」は辞退し、「弔電」は送らないこととしていますので、市民の皆さまのご理解をお願いいたします。

※代表焼香には、各宗派などにおける同様の行為も含まれます。

議案などの賛否状況の一覧です。議長は採決には加わりません。
 ○：賛成、●：反対、－：欠席・棄権、除斥：議案と一定の利害関係を有する議員は、採決の際に退席することになっています。



議席に設置してある採決ボタン

番 号	大谷 良治	岸 道三	湯浅 啓史	神門 至	寺本 淳一	渡部 勝	福島 孝雄	原 正雄	大場 利信	井原 優	伊藤 繁満	保科 孝充	飯塚 俊之	板垣 成二	小村 吉一	大国 陽介	松村 豪人	遠藤 力一	萬代 輝正	板倉 一郎	多々納剛人	川上 幸博	福代 秀洋	板倉 明弘	勝部 順子	米山 広志	山代 裕始	宮本 享	長廻 利行	古福 康雅	珍部 全吾	坂根 守				
同第8号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
同第9号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
同第10号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
諮第4号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議第99号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議第100号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議第101号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議第102号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議第103号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
議第104号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第105号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第106号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第107号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第108号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第109号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第110号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
議第111号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第112号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第113号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第114号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第115号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第116号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第117号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第118号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第119号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第120号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第121号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第122号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第123号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第124号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第125号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第126号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第127号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第128号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議長

平成 25 年度
第 5 回出雲市議会(定例会)

採 決 結 果

番 号	議 案 名	審議結果	賛成	反対
同第 8 号	出雲市固定資産評価審査委員会委員の選任について (成瀬達郎氏)	同 意	31	0
同第 9 号	出雲市固定資産評価審査委員会委員の選任について (森脇慶昌氏)	同 意	31	0
同第10号	出雲市固定資産評価審査委員会委員の選任について (常松耕治氏)	同 意	31	0
諮第 4 号	人権擁護委員候補者につき意見を求めることについて (竹田初美氏)	同 意	31	0
議第99号	出雲市議会会議規則の一部を改正する規則	原案可決	31	0
議第100号	平成25年度(2013)出雲市一般会計第 6 回補正予算	原案可決	31	0
議第101号	平成25年度(2013)出雲市国民健康保険事業特別会計第 2 回補正予算	原案可決	31	0
議第102号	平成25年度(2013)出雲市介護保険事業特別会計第 3 回補正予算	原案可決	31	0
議第103号	平成25年度(2013)出雲市簡易水道事業特別会計第 4 回補正予算	原案可決	31	0
議第104号	平成25年度(2013)出雲市下水道事業特別会計第 3 回補正予算	原案可決	31	0
議第105号	平成25年度(2013)出雲市農業・漁業集落排水事業特別会計第 3 回補正予算	原案可決	31	0
議第106号	平成25年度(2013)出雲市浄化槽設置事業特別会計第 2 回補正予算	原案可決	31	0
議第107号	平成25年度(2013)出雲市ご縁ネット事業特別会計第 2 回補正予算	原案可決	31	0
議第108号	平成25年度(2013)出雲市高野令一育英奨学事業特別会計第 1 回補正予算	原案可決	31	0
議第109号	平成25年度(2013)出雲市廃棄物発電事業特別会計第 1 回補正予算	原案可決	31	0
議第110号	平成26年度(2014)出雲市一般会計予算	原案可決	26	5
議第111号	平成26年度(2014)出雲市国民健康保険事業特別会計予算	原案可決	28	3
議第112号	平成26年度(2014)出雲市国民健康保険橋波診療所事業特別会計予算	原案可決	31	0
議第113号	平成26年度(2014)出雲市診療所事業特別会計予算	原案可決	31	0
議第114号	平成26年度(2014)出雲市後期高齢者医療事業特別会計予算	原案可決	28	3
議第115号	平成26年度(2014)出雲市介護保険事業特別会計予算	原案可決	28	3
議第116号	平成26年度(2014)出雲市簡易水道事業特別会計予算	原案可決	28	3
議第117号	平成26年度(2014)出雲市下水道事業特別会計予算	原案可決	28	3
議第118号	平成26年度(2014)出雲市農業・漁業集落排水事業特別会計予算	原案可決	28	3
議第119号	平成26年度(2014)出雲市浄化槽設置事業特別会計予算	原案可決	28	3
議第120号	平成26年度(2014)出雲市風力発電事業特別会計予算	原案可決	31	0
議第121号	平成26年度(2014)出雲市ご縁ネット事業特別会計予算	原案可決	28	3
議第122号	平成26年度(2014)出雲市企業用地造成事業特別会計予算	原案可決	28	3
議第123号	平成26年度(2014)出雲市駐車場事業特別会計予算	原案可決	31	0
議第124号	平成26年度(2014)出雲市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算	原案可決	31	0
議第125号	平成26年度(2014)出雲市高野令一育英奨学事業特別会計予算	原案可決	31	0
議第126号	平成26年度(2014)出雲市廃棄物発電事業特別会計予算	原案可決	31	0
議第127号	平成26年度(2014)出雲市水道事業会計予算	原案可決	28	3
議第128号	平成26年度(2014)出雲市病院事業会計予算	原案可決	28	3

番 号	大谷 良治	岸 道三	湯淺 啓史	神門 至	寺本 淳一	渡部 勝	福島 孝雄	原 正雄	大場 利信	井原 優	伊藤 繁満	保科 孝充	飯塚 俊之	板垣 成二	小村 吉一	大國 陽介	松村 豪人	遠藤 力一	萬代 輝正	板倉 一郎	多々納 剛人	川上 幸博	福代 秀洋	板倉 明弘	勝部 順子	米山 広志	山代 裕始	宮本 享	長廻 利行	古福 康雅	珍部 全吾	坂根 守	
議第129号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第130号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第131号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第132号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第133号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第134号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第135号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第136号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第137号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第138号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第139号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第140号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第141号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第142号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第143号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第144号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第145号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第146号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第147号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第148号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第149号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第150号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第151号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第152号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第153号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第154号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第155号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第156号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第157号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第158号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第159号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第160号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第11号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第12号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情第17号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議長

○：賛成、●：反対、一：欠席・棄権、除斥：議案と一定の利害関係を有する議員は、採決の際に退席することとなっています。

採決の結果

番 号	議 案 名	審議結果	賛成	反対
議第129号	出雲市行政組織条例の一部を改正する条例	原案可決	28	3
議第130号	特別職の職員で非常勤のものの報酬、費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	31	0
議第131号	出雲市長等の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	31	0
議第132号	出雲市手数料条例の一部を改正する条例	原案可決	28	3
議第133号	出雲市スポーツ施設条例の一部を改正する条例	原案可決	31	0
議第134号	出雲国際交流会館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	28	3
議第135号	出雲市福祉医療費助成条例の一部を改正する条例	原案可決	28	3
議第136号	出雲市児童クラブ条例の一部を改正する条例	原案可決	31	0
議第137号	出雲市乳幼児等医療費助成条例の一部を改正する条例	原案可決	31	0
議第138号	出雲市農林業関係事業分担金徴収条例の一部を改正する条例	原案可決	31	0
議第139号	出雲市営住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	31	0
議第140号	出雲市小集落改良住宅設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	31	0
議第141号	出雲市定住促進空き家活用住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	31	0
議第142号	出雲市景観条例の一部を改正する条例	原案可決	31	0
議第143号	出雲市生活バス運行事業の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	28	3
議第144号	出雲市コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	31	0
議第145号	出雲市消防本部手数料条例の一部を改正する条例	原案可決	31	0
議第146号	斐伊川放水路事業関連大社湾漁業振興基金条例を廃止する条例	原案可決	31	0
議第147号	出雲都市計画事業出雲市駅周辺地区土地区画整理事業清算金分割徴収に関する条例を廃止する条例	原案可決	31	0
議第148号	出雲市一般職の職員の給与の特例に関する条例	原案可決	28	3
議第149号	出雲市災害派遣手当等の支給に関する条例	原案可決	31	0
議第150号	出雲市いじめ問題対策委員会設置条例	原案可決	31	0
議第151号	出雲市猪目交流センターの設置及び管理に関する条例	原案可決	31	0
議第152号	出雲市消防長及び消防署長の資格を定める条例	原案可決	31	0
議第153号	新市建設計画の変更について	原案可決	28	3
議第154号	辺地に係る総合整備計画の策定及び変更について	原案可決	31	0
議第155号	出雲市過疎地域自立促進計画の変更について	原案可決	31	0
議第156号	包括外部監査契約の締結について	原案可決	31	0
議第157号	市道路線の廃止について	原案可決	31	0
議第158号	市道路線の認定について	原案可決	31	0
議第159号	出雲市国民健康保険条例の一部を改正する条例	原案可決	28	3
議第160号	出雲市議会委員会条例の一部を改正する条例	原案可決	31	0
請願第11号	上成大津小学校前線の拡幅に関する請願	趣旨採択	28	3
請願第12号	「高齢者の負担増と保険給付の削減を押し付け、市町村に責任を転嫁する介護保険の見直しに反対する意見書」の採択を求める請願	不採択	26	5
陳情第17号	旧宍道邸を早急に施設整備し活用する事業の採択を求める陳情	継続審査	31	0

行政視察報告

逗子市タブレット＆クラウドによる
議会情報共有システムについて

議会運営委員会

11月5日～7日

第8回マニフェスト大賞「コミュニケーション戦略賞部門」の優秀賞を受賞した議会改革の取り組みを視察しました。

どこの議会でも同じように抱える問題に、資料の多さがあげられます。

逗子市では、議会ごとに印刷される千～2千枚の議案や資料をデジタル化することによって、この問題を解決しています。平成24年12月議会からタブレット端末を使った実証実験を開始し、翌年6月議会から正式運用が始まっています。

これによって、印刷経費の削減や事務作業量の軽減、また情報活用能力の向上などが図られています。

(多々納剛人 記)



逗子市議会にてタブレット端末の導入状況の説明を受ける

再生可能エネルギー施設を視察

原子力発電・新エネルギー調査特別委員会

11月13日～15日

特別委員会では、再生可能エネルギーの調査のために、九州にある3施設を訪問しました。

大分県日田市のバイオマス資源化センターは、生ごみや家畜の糞尿を原料としたメタン発酵を行い、メタンガスを発電に利用されています。

鹿児島市の七ツ島メガソーラー発電所は、国内最大級のメガソーラー発電所で、年間約2

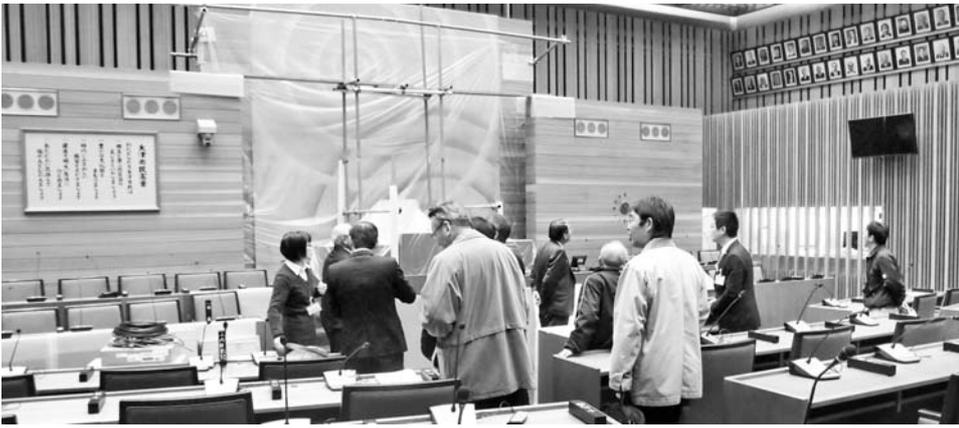
万5千トンのCO₂削減にも貢献する環境ビジネス事業として注目されています。

福岡アイランドシティでは、太陽光発電や風力発電などの再生可能エネルギー、家庭内のエネルギーマネージメントシステムなどの最新技術を研修し、今後の新エネルギーの取り組みに大変参考となりました。

(長廻利行 記)



バイオマス資源化センター見学（日田市）



タブレット端末導入に伴うプロジェクター設置工事中（大津市議会）

積極的な広報戦略を行っている2市を視察

広報委員会

1月27日～28日

大津市議会では、紙媒体の議会だよりのほかに、インターネットなどの電子媒体やびわ湖

放送との連携により、議会の状況を早く市民に伝えるよう努力されています。明石市議会では、議会に関する市民アンケートの調査結果を踏まえ、多くの市民に議会だよりを読んでもらうようチラシなどで事前広報をするなどの広報戦略を展開されています。

両市議会とも事務局の職員主導で議会だよりが作成され、完成時期も早くなっています。出雲市議会だよりは議員自らの手作りであり、両市議会と比較し完成時期は遅れますが、手作りの良さを発揮しつつ、より早い完成を目指して努力したいと思います。

（大場利信 記）

議会活動（2月17日～5月8日に開催された会議）

- | | |
|--|--|
| 2月17日(月) 理事会、森林・林産業対策協議会 | 8日(火) 文教厚生委員会協議会 |
| 20日(木) 議会運営委員会、全員協議会 | 9日(水) 島根県市議会議長会事務局長会議
(安来市) |
| 20日(木)～3月20日(木)
平成25年度第5回定例市議会 | 10日(木) 全国自治体病院経営都市議会協議会
(東京都) |
| 21日(金) 商工議員連盟 | 14日(月) 広報委員会 |
| 24日(月) 理事会 | 18日(金) 島根県市議会議長会春季総会(安来市)、
広報委員会 |
| 26日(水) 行財政改革特別委員会 | 22日(火) 環境経済委員会・神戸川発電用水検討協
議会合同協議会 |
| 3月3日(月) 議会運営委員会 | 23日(水) 広報委員会 |
| 5日(水) 広報委員会 | 23日(水)～24日(木)
中国市議会議長会第134回定期総会
(山口県周南市) |
| 6日(木) タブレット端末等活用推進委員会 | 28日(月) タブレット端末等活用推進委員会 |
| 7日(金) 総務委員会・行財政改革特別委員会合同
委員会、総務委員会・原子力発電・新工
ネルギー調査特別委員会合同委員会 | 5月2日(金) 議会運営委員会、全員協議会、総務委員
会協議会、建設水道委員会、斐伊川・神
戸川治水対策協議会合同協議会 |
| 19日(水) 大社立久患線対策協議会、議会運営委員
会、タブレット端末等活用推進委員会・
ICT活用調査研究会合同会議 | 8日(木) 全国自治体病院経営都市議会協議会第72
回理事会・第42回定期総会(東京都) |
| 20日(木) 全員協議会 | |
| 24日(月) 文教厚生委員会協議会 | |
| 28日(金) 観光・企業支援調査特別委員会 | |
| 4月7日(月) 広報委員会 | |

今後の本会議の予定

平成26年度 6月定例会市議会 会期日程(案)

- 6月 6日(金) 本会議(開会、議案上程・説明)
- 10日(火) 本会議(一般質問・1日目)
- 11日(水) 本会議(一般質問・2日目)
- 12日(木) 本会議(一般質問・3日目)
- 13日(金) 本会議
(一般質問・4日目、議案質疑、委員会付託)
- 17日(火) 総務委員会
- 18日(水) 文教厚生委員会
- 19日(木) 環境経済委員会
- 20日(金) 建設水道委員会
- 23日(月) 予算特別委員会(1日目)
- 24日(火) 予算特別委員会(2日目)
- 26日(木) 本会議(委員長報告、討論、採決、閉会)

※一般質問を行う議員数により6月13日の日程が12日に繰り上がることがあります。

議会傍聴にいらっしやいませんか

出雲市議会では、本会議および委員会を原則公開しています。(ただし、議長および委員長の判断により非公開とする場合があります。)

当日、議場(委員会室)前の傍聴受付で、傍聴受付簿に住所、氏名を書いていただくと、傍聴できますので、お気軽にお出かけください。

なお、要件によっては、傍聴席に入ることができないこともあります。

傍聴席は、議場60席、委員会室10席程度あります。事前の連絡は必要ありませんが、団体での傍聴を希望される場合には、出雲市議会事務局まであらかじめご相談ください。

託児サービス始めました

平成25年度3月定例会市議会から、本会議・委員会を傍聴される間、お子さまをお預かりする託児サービスを始めました。

託児を希望される場合は、原則として希望日の1週間前までに申込みが必要です。詳しくは議会事務局へおたずねいただくか、市議会のホームページをご覧ください。

編集後記

咲き誇る満開の桜のもと、入園・入学を迎えられた新入生の皆さん、ご入園・ご入学おめでとうございませう。新生活が輝かしいものとなることをお祈りいたします。

3月議会では新年度予算他、様々な取組が示されました。中でも「今後3年間を行財政改革の集中改革期間とする」との方針が提示されたことは注目すべき事柄でした。行政サービスの質を保ちつつ財政再建を進めるといふ、難しい舵取りが求められますが、新設された「行政改革部」が核となり推進される改革に大きな期待が寄せられています。

新年度の華やいだ雰囲気^{たくま}が落ち着くと青葉の季節、木々の逞しさと共に、私たちも大いに成長したものです。

(広報委員会 湯浅啓史)

議会に関するお問い合わせは

市議会だよりにお気づきの点がございましたらご意見をお寄せください。より充実した紙面づくりの参考とさせていただきます。

出雲市議会事務局

〒693-8530 出雲市今市町70

TEL : (0853) 21-6579 FAX : (0853) 21-6251
URL : <http://www.city.izumo.shimane.jp/gikai>
メール : gikai@city.izumo.shimane.jp/

広報委員会

委員長	大場 利信
副委員長	渡部 勝
委員	岸 道三
委員	湯浅 啓史
委員	神門 至
委員	寺本 淳一
委員	福島 孝雄
委員	井原 優
委員	伊藤 繁満
委員	長廻 利行
委員	福代 秀洋
委員	坂根 守